

# カキ新品種‘紀州てまり’栽培マニュアル

## ～①品種特性と栽培上の留意点～



和歌山県果樹試験場かき・もも研究所

### ‘紀州てまり’の育成経過

‘紀州てまり’は2008年にかき・もも研究所において‘早秋’に‘太秋’の花粉を交配し、得られた46個体の実生群の中から、2013年に初結実し大果で外観および食味が優れたため有望系統として選抜されました。

2017年3月に品種登録出願し2019年4月23日付けで品種登録（登録番号第27401号）されました。



♀ ‘早秋’



♂ ‘太秋’



‘紀州てまり’

2019年9月作成

# 品種特性

## 1. 栽培特性

### ① 樹勢・樹姿

‘紀州てまり’の樹勢は「中」、樹姿は「開張」で親品種である‘太秋’や‘早秋’と同程度です。

### ② 生育ステージ

かき・もも研究所（紀の川市粉河）での発芽期は親品種や‘富有’と同程度です。開花盛期は5月16日で‘富有’と同程度です。ただし、苗木育成樹では高接ぎ樹に比べ発芽期、開花期ともにやや遅くなる場合があります。果実の収穫は10月中旬から可能で11月上旬に収穫を終えます（表1）。

### ③ 着花（果）特性

雌花のみ着生し、雄花は着生しません。雌花の着生数は‘富有’に比べ少ないです。6月中の早期の生理落果は少ないですが、年により8月下旬頃に後期落果がみられる場合があります。

表1. 生育ステージ（2014～2018年の平均）

品 種	発芽期	開花盛期	収穫始期	収穫盛期	収穫終期
紀州てまり （‘刀根早生’台高接ぎ）	3月14日	5月16日	10月13日	10月22日	11月3日
太秋	3月14日	5月11日	-	10月16日	-
早秋	3月14日	5月14日	-	9月29日	-
富有	3月14日	5月16日	-	11月20日	-

（紀の川市粉河）



図1. ‘紀州てまり’の樹姿（高接ぎ）



図2. ‘紀州てまり’の樹姿（5年生）

## 2. 果実特性

甘渋性は完全甘ガキのため脱渋は不要です。果形は‘太秋’に似て果実重は300g以上の大果となります（図3）。着色は‘太秋’に比べ良好でへた周りの着色も進みます。糖度は17%程度になり、多汁です。条紋は発生せず黒変（汚損）の発生が少ないため外観が優れます（表2）。ただし、種子が形成された場合などに‘富有’と同程度のへたすきが発生することがあります。



図3. ‘紀州てまり’の果形

表2. ‘紀州てまり’の果実品質（2014～2018年の平均）

品 種	果実重 (g)	果皮色(カラーチャート値)		果肉硬度 (kg)	糖度 (%)	果皮障害			
		果頂部	へた周辺部			果頂裂果 <sup>z</sup>	条紋 <sup>y</sup>	へたすき <sup>x</sup>	黒変果 <sup>w</sup>
紀州てまり （‘刀根早生’台高接ぎ）	388	5.3	5.1	1.5	17.4	0.3	0.0	0.9	0.2
太秋	408	5.0	2.8	1.4	16.5	0.1	1.2	0.8	1.0

z: 果頂裂果 0: なし、1: 微、2: 小、3: 中、4: 大

y: 条紋 0: なし、1: 全体の30%未満、2: 全体の30～70%、3: 全体の70%以上

x: へたすき 0: なし、1: 微、2: 小、3: 大

w: 汚損 0: なし、1: 少、2: 多

# 栽培上の留意点

## 1. 整枝・剪定

結果母枝の長さごとの着蕾数は 30 cm未満の結果母枝で少ないため（図 4）、着果数を安定的に確保するために 30 cm以上の長い結果母枝を中心に残す必要があります。また、年数が経つと着果部位が枝先に移行していくため、基部側に長い枝や不定芽由来の充実した枝がある場合は切り戻して更新を行いましょう。

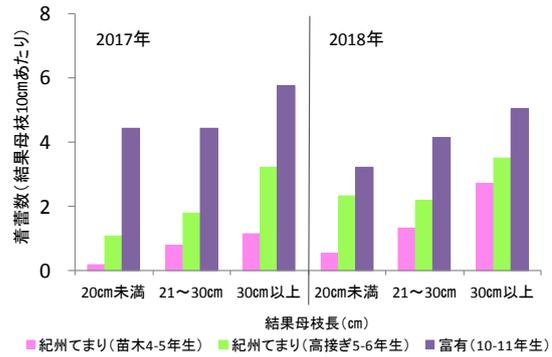


図 4. '紀州てまり' の結果母枝長ごとの着蕾数

### \* 前年着果の多かった枝



剪定前



剪定後

長い結果母枝(↑)に着果させる



前年の着果跡

前年着果した 20 cm程度の結果母枝は先端芽のみ発芽し着蕾数も少ないか着蕾しない

### \* 伸長の旺盛な高接ぎ 2 年生枝



剪定前



剪定後



高接ぎ 2 年目の新梢伸長が旺盛な場合、先端部の①の枝に着果させると樹高が高くなり、着果部位が先端になるため②の枝に切り戻す（白線の位置）。

### \* 若木の樹形作り

'紀州てまり' の目指す樹形は 3 本主枝の開心自然形が適当であると考えます。苗木定植後放任しておくと主枝候補枝が直立します。そこで、植え付け 3~4 年目に主枝候補枝を支柱に誘引し骨格を形成します（図 5）。樹液の流動が始まり枝の柔らかい 5~6 月に誘引すると枝折れのリスクも軽減できます。着果が始まると果実の重さで主枝先端が下垂しないように注意しましょう。



図 5. 若木の樹形作り（5 年生）

# 栽培上の留意点

## 2. 新梢管理

‘紀州てまり’は副芽から新梢が発生するため摘蕾時に全て芽かきしましょう。



副芽からの新梢発生



芽かき前



芽かき後

## 3. 着果管理

摘蕾・摘果の基本的な着果管理は概ね‘富有’に準じた管理を行います。

### \*摘蕾

開花期までに1枝1蕾に摘蕾を行います。葉が5枚以下の枝は全摘蕾します。残す蕾は下向きか横向きのへたの大きな蕾を残しましょう。遅れ花が着生した場合はできるだけ早く摘蕾します。

### \*生理落果

‘紀州てまり’は生理落果が少ない(図6)ため受粉樹の混植や人工受粉は不要です。また、受粉により種子が入ることでへたすきや果頂裂果がやや出やすくなります。

### \*摘果

摘果は梅雨明け後の7月中下旬にかけて葉果比20~25を目安に行います。傷果や奇形果、上向き果は摘果します。また、着蕾数が少ないことから新梢基部への着果が多くなるため、果実の肥大とともに果実同士や枝とぶつからないように考慮しましょう。

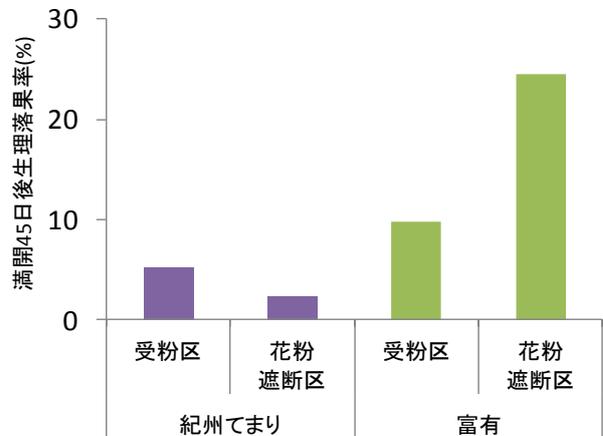


図6. 受粉の有無による生理落果率の違い(2018年)

### \*摘果の目安



摘果前



摘果後

葉果比 22



摘果前



摘果後

葉果比 24

# 栽培上の留意点

## 4. 果実品質

‘紀州てまり’の果頂部カラーチャート値は10月中旬に5程度になり、10月下旬から11月上旬にかけて6以上になります(図7)。ただし、苗木育成の若木では高接ぎ樹に比べ着色がやや遅くなります。着色が進むほど果実重や糖度が高くなり果汁量も増えるため食味が向上します。カラーチャート値5~6の果実は常温で3週間程度の日持ちを維持することができますがカラーチャート値7になると糖度は高いものの日持ち日数は短くなります(表3)。

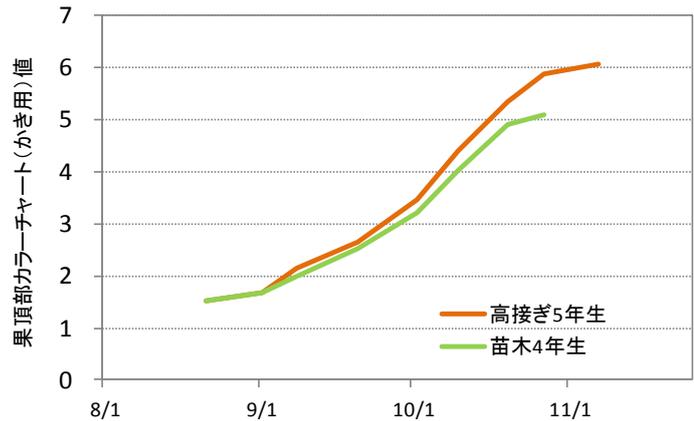


図7. 果頂部カラーチャート(かき用)値の推移(2017年)

表3. カラーチャート値別の果実品質(2017~2018年の平均)

カラーチャート値※ (‘刀根早生’台高接ぎ)	調査日	果実重 (g)	糖度 (%)	果汁量	果肉硬度 (kg)	日持ち日数 (日)
5	10月17日	390	17.1	中	1.4	21
6	10月26日	416	17.3	多	1.4	21
7	11月10日	423	18.3	多	1.0	12

※かき用

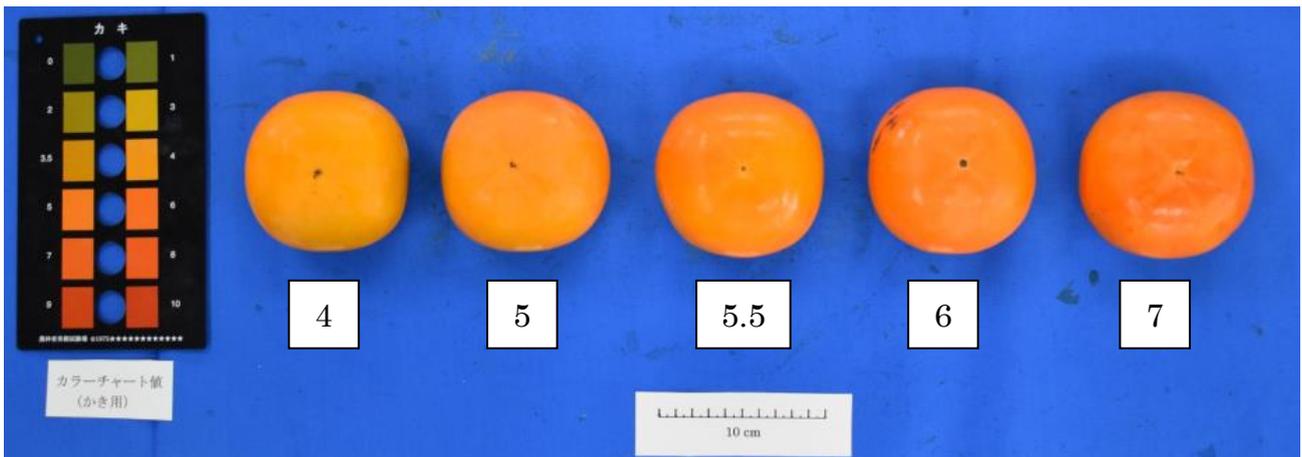


図8. カラーチャート値(かき用)別の果実外観

## 5. 高接ぎ更新

高接ぎを行う場合の台木品種は‘刀根早生’、‘平核無’、‘富有’のいずれにおいても活着は良好です。接ぎ木時期は3月下旬から4月中旬頃が適期です。接ぎ木翌年に結実させることが可能です。接ぎ木活着後は伸長が旺盛なため、枝折れに注意が必要です。また、生育期に副梢の発生がみられます(図9)。充実した場合は翌年の結果母枝として利用可能ですが、多数発生している場合など剪定時に取り除きます。接ぎ木部の枝幹害虫防除も定期的にも実施しましょう。



図9. 接ぎ木後の副梢発生(←)

# 栽培上の留意点

## 6. 苗木の植え付け

‘紀州てまり’の苗木は基部側の副梢を剪除した後など充実した芽がない、もしくは芽が全くない節があります（図 10）。特に前年よく伸びた太い苗木でこのような傾向がみられます。植え付け時の切り返しは充実した芽を先端に残して行いましょう（図 11）。植え付け後の活着が良好であれば芽のない箇所からも不定芽の発芽がみられます。

土壌が乾燥した場合など苗木によっては発芽が遅く、5月中旬以降に芽が動き始めるものがあります。土壌が乾燥する前に十分な灌水を実施してください。また、乾燥防止のため敷きわらなどを行いましょう。



図 10. 苗木の芽の不充実



図 11. 苗木の切り返し

## 7. その他の管理

- ・病虫害防除および施肥は‘富有’に準じて実施します。
- ・果実の肥大が進むと枝折れする可能性があるため枝つりや支柱立てなどを行います。特に高接ぎ2年目に着果させた場合は接ぎ木部の折れに注意しましょう。

### ‘紀州てまり’生産者登録について

‘紀州てまり’は、ブランドや生産する農業者の利益を守るため、生産者登録制としております。種苗購入を希望する県内農業者は、生産者登録申請が必要となります。要件等詳しくは果樹園芸課ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

\* 果樹園芸課ホームページ

紀州てまり 生産者登録

検索

\* 問い合わせ先：果樹園芸課果樹班  
各振興局農業水産振興課

問い合わせ先電話番号

果樹班	073-441-2902	有田	0737-64-1273
海草	073-441-3382	日高	0738-24-2930
那賀	0736-61-0025	西牟婁	0739-26-7941
伊都	0736-33-4930	東牟婁	0735-21-9632

本マニュアルに関する問い合わせ

和歌山県果樹試験場かき・もも研究所

〒649-6531 和歌山県紀の川市粉河 3336 TEL : 0736-73-2274 FAX : 0736-73-4690